

# 15. 令和2年度大分県高等学校新人弓道競技大会実施要項

- 1 主催 大分県高等学校体育連盟
- 2 期日 令和2年10月3日(土) 8:30 監督会議 (予備日:10月17・18日)  
(男子の部) 9:25 優勝杯返還  
9:30～ 団体予選2立(椅子なし立射)  
13:30～ 個人予選・個人決勝(3位まで決定)  
14:30～ 団体決勝トーナメント  
16:00 表彰式  
10月4日(日) 8:30 監督会議  
(女子の部) 9:25 優勝杯返還  
9:30～ 団体予選2立(椅子なし立射)  
13:30～ 個人予選・個人決勝(3位まで決定)  
14:30～ 団体決勝トーナメント  
16:00 表彰式
- 3 場所 大洲総合運動公園弓道場(大分市青葉町) TEL 097-551-2110  
※監督会議は同会場の射場で行う。
- 4 競技規則 (公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則及び(公財)全日本弓道連盟競技規則による。
- 5 競技方法 (1) 種別は、①近的・立射 ②男女別 ③団体競技・個人競技 とする。  
(2) 団体予選について  
ア.4矢2立(各8射・チーム合計40射)を椅子なしの立射で行う。  
イ.2チーム同時に行射(チームは順立ち)する。  
ウ.総的中数上位8チームを予選通過とする。同中のため8チームを超えるときは、各自1本ずつの競射により8チームにしぼる。競射の選手は予選2立目のメンバーとする。  
エ.1チームの行射時間は6分以内とし、それ以降離れた矢は失格とする。  
(行射時間=「始め」の合図から最後の射手の「離れ」まで)なお、弦切れの場合は跪坐して待ち、以後の射手は替弦を待たずに順次行射する。一巡したら順立ちに戻る。  
オ.制限時間はブザーにより、次の要領で合図する。《30秒前(5分30秒)…短く 終了(6分)…長く》  
(3) 決勝トーナメントについて  
ア.トーナメント方式で各自4射・チーム計20射を行う。  
イ.予選の中数により1位～8位を決定する。なお、抽選は行わず、同中の場合はプログラム記載順とする。対戦順1回戦4試合は、次の通りとする。  
**1位対8位、5位対4位、3位対6位、7位対2位**  
ウ.対戦するチームが同時に行射(チームは順立ち)する。射終わったら本座に戻り立ったまま待機、判定の発声の後に退場する。同中の場合は、各自1本ずつの競射を行い、勝敗を決定する。  
競射1本目は替矢を使用する。  
エ.決勝戦の前に、1手競射による3位決定戦を行う。  
(4) 個人戦について  
ア.九州新人大会の予選を兼ねる。(10人立ち)  
イ.予選は各自4射を行い、3中以上を準決勝進出とする。  
ウ.準決勝も各自4射を行い、3中以上を決勝進出とする。  
エ.決勝は射詰競射で行う。優勝者が決まるまで射詰を行い、射詰競射9本目から8寸星的使用する。他の順位決定は遠近法により決定する。  
オ.予選・準決勝・決勝とも順立ちとする。
- 6 参加資格 「令和2年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 7 参加制限 (1) 団体競技  
ア.1校男女とも1チームとする。  
イ.チーム編成は、監督1名・選手3名～5名、補欠2名の計4～8名とする。  
選手3名以上を団体扱いとする。  
ウ.選手の変更・交代については、登録された補欠との変更・交代のみを認め、変更・交代した選手は、以後補欠とみなす。1回で、補欠2名同時に変更・交代も可。  
以下のように団体戦の変更・交代回数を定める。  
選手変更…監督会議前のみ  
選手交代…試合中に1回  
決勝トーナメントにおいては試合毎にリセット。ただし、立順の入れ替わりは不可。  
(2) 個人戦  
個人戦出場資格は、支部予選において男子8射5中、女子8射4中以上の中した者。

- 8 参加申込 (1) 期限 令和 2 年 9 月 25 日 (金) 必着  
 (2) 方法 申込用紙は高体連ホームページから入手し、下記により期限内に行う。  
 ア. 様式により作成し、1部印刷・捺印して大会初日当日朝本部へ提出する。  
 イ. 校長の承認を得た申込電子データは、メールで送信する。(ファイル名：競技名/校名/監督名)  
 ウ. 選手名の入った申込用紙のコピー1部と選手の参加同意書(原本)を専門委員長まで郵送する。
- (3) 宛先 (申込電子データ)  
 〒870-0938 大分市今鶴1丁目19-1 大分舞鶴高等学校内  
 弓道申込先責任者 小野 崇 あて  
 メールアドレス [ono-takashi@oen.ed.jp](mailto:ono-takashi@oen.ed.jp) <データ受付期間：9月25日 16:00必着 >  
 (申込用紙コピー及び参加同意書)  
 〒871-0043 中津市高畑2093番地 中津南高等学校内  
 高体連弓道専門委員長 河上 渉 あて
- 9 参加負担金 選手(補欠を含むエントリー)1人につき 加盟校600円・非加盟校1000円。大会当日の受付で納入する。
- 10 出場権の獲得 男女とも団体戦1~3位の高校及び個人戦1~3位の者に、九州新人大会の出場資格を与える。  
 ※新型コロナウイルス対応のため、九州新人大会が実施されない場合もある。
- 11 組合抽選 第二回専門委員会 令和 2 年 9 月 29 日 (火) 10 時~ 大分商業高等学校  
 ※立順は、専門委員会において抽選基準に基づいて厳正に抽選する。
- 12 連絡事項 (1) 服装は弓道着又はユニフォーム(肩線のない白シャツ、校服のズボン・スカート・白靴下)とする。  
 (2) 鉢巻きを使用する場合は、無地とし、肩にかからない長さとする。  
 (3) 弓具・服装の点検を行い、違反選手には行射させない。  
 (4) 頭髮にリボンを着用することは禁止する。  
 (5) ゼッケンは、右腰前に付けること。なお、サイズは全国大会の形にできるだけ合わせること。  
 布地は白。県名と学校名の文字は黒、  
 番号は男子が黒文字、女子は赤文字で記入。
- 
- (6) 呼び出しに絶えず気を配ること。  
 点検に遅れる等して、第一控「始め」の号令に間に合わなかった者は失格である。
- (7) 選手は大会競技規則を熟知し、違反のないように競技に臨むこと。  
 ア. 甲矢を射る時、乙矢を取り矢すること。  
 イ. 矢番え動作後、管から弦が離れた場合「管ごぼれ」となり、その矢は失格である。  
 ウ. 監督は道場内の選手に、発声又は動作で合図やアドバイスをしてはならない。選手も同様である。
- (8) 事故防止に最善を尽くさなくてはならない。そのため指示された危険区域(矢取り道・看的所横)には立ち入らない。
- (9) 選手宣誓は、前年度女子優勝校の**大分雄城台**高校とする。
- (10) 各支部長は、支部予選大会後直ちに、大会結果報告書を専門委員長に提出すること。
- (11) 競技開始前の前練習はできない。
- (12) 台風等の荒天の場合は、予備日に変更する可能性がある。
- (13) 参加する学校は、選手・監督の体調記録表及び行動履歴表(別紙様式)を作成し、体調記録表については大会当日朝、本部に提出すること。
- (14) その他新型コロナウイルスに係る諸注意については別紙参照のこと。

## 令和2年度秋季新人大会における感染症等の対策に関する留意事項について

弓道競技専門部

## 1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 参加する学校は、選手・監督の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること。
- (3) 競技専門部は、競技役員等、来場者の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること。
- (4) 発熱等の症状がある場合は、参加を見合わせる（当日の体調急変を含む）。
- (5) 参加者は、マスク着用（息苦しさを感じた時は外す）、咳エチケット、こまめな手洗いなど、基本的な感染症対策を徹底すること。
- (6) 競技会場各所に手指消毒薬を、トイレ等には手洗い用石鹸を準備すること。  
参加者が触れる場所はアルコールや次亜塩素酸ナトリウム等で定期的に消毒するとともに、競技に使用する共用の用具（ボール等）を消毒すること。次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合は2度拭きする。
- (7) 大会は、無観客を原則とする。
- (8) 密閉を避けるため、定期的に会場の換気を行う。
- (9) 密集を避けるため、人が集まる場面では1～2メートル程度あけさせる。更衣室等の利用にあたっては短時間の利用とし、一斉に利用しない。
- (10) 密接を避けるため、握手やハイタッチなどの身体接触をしない。近距離での会話や発声をしない。  
応援はメガホン等を使用しない。水分補給用のボトル等、チーム内での共用をしない。
- (11) 各専門部が作成する実施要項及びプログラム等に「感染症等の対策に関する留意事項」を明記すること。
- (12) 感染防止対策を講じていても、県内の感染状況等に鑑み、急遽、大会中止や延期となる場合がある。

## 2 弓道競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

## 【 大会本部 】

- ・本大会は無観客とする。選手でない部員、引率者以外の教職員・保護者・卒業生等の観戦・応援は認めない。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等を動線で区分する。
- ・主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・会場内のトイレに液体せっけん消毒液を設置する。
- ・試合前、試合後に大会関係者で消毒作業を行う。
- ・競技中以外はマスクを着用し、射場に入場する直前にマスクを外す。介添えはマスク着用。
- ・更衣室と控室は、雨天時以外の使用を禁止する。
- ・握手やハイタッチなどの身体接触は禁止する。
- ・大きな声で会話、応援等を禁止する。
- ・競技役員、補助員等の座席は、可能な限り2メートルの距離を確保する。
- ・飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。
- ・ゴミは、各学校・個人で持ち帰る。

## 《 試合運営 》

- ・時間短縮のため、開会式・閉会式は行わず、優勝旗返還・表彰式のみとする。
- ・第2控えは、弓道場正面玄関外側（別紙会場レイアウト）とし、直前の試合終了後、速やかに射場に入場する。
- ・第2控えで、目視による弓具の点検をする。（道具への接触はしない）
- ・射場記録、的前の補助員は置かない。
- ・射場記録、矢取・看的はすべて教員で行い、選手は矢返所で自分の矢を自分で拭く。
- ・的前審判の教員を第1射場・第2射場とも3名とし、的中ボード置きと矢取りをする。

## 《 参加者 》

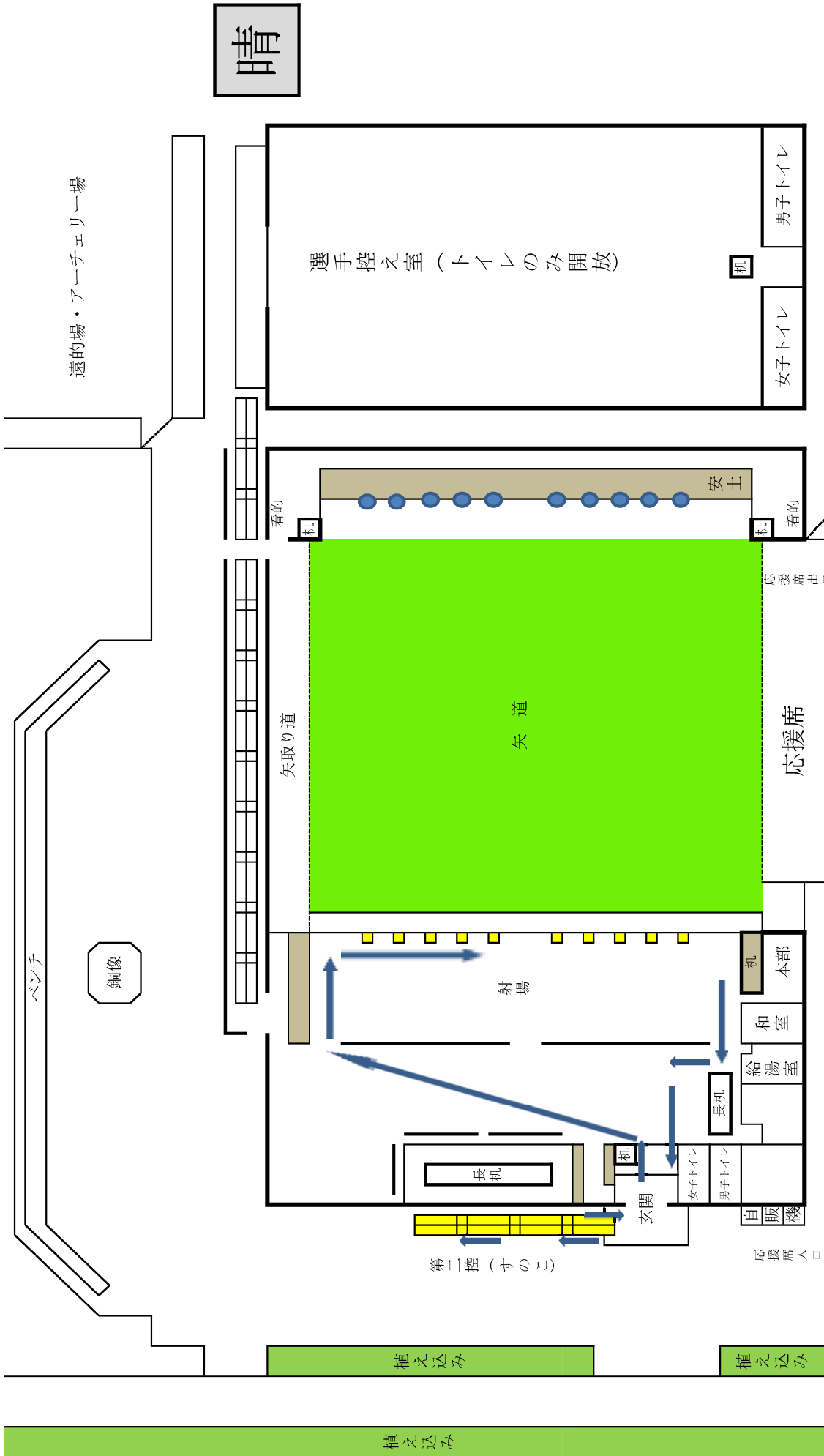
- ・各校団体戦出場選手7名と個人戦出場選手（前記7名に含まれる場合もある）のみ参加ができる。選手でない部員、引率者以外の教職員・保護者・卒業生等の観戦・応援は認めないこととする。
- ・試合当日の朝、試合会場で検温を行い、37.5℃以上及び平熱より1℃以上高い熱のある選手・監督は参加不可とする。
- ・発声による応援は禁止とする。
- ・競技中以外はマスクを着用し、射場に入場する直前にマスクを外す。介添えはマスク着用する。
- ・選手は各自、自分の弓・矢・弾を使用し、他の選手の使用したものに一切触れないようにする。
- ・選手は各自、矢を拭くための雑巾を持参し、他人の物を使用しない。

## 《 その他感染防止対策 》

- ・晴天時、控え所は使用せず各校の選手は弓道場で離れて待機する。雨天時には控室やテントなどを使用し（別紙割振参照）、屋外で待機する。
- ・射位は、1. 8m間隔とする。（通常の試合は1. 5m間隔）
- ・試合中、選手への発声は禁止とする（競技規則）。
- ・道場内は、常時換気を行う。窓はすべて開ける。
- ・試合会場での椅子（選手の第一控、第二控）を使用しない。
- ・試合前、試合後に大会関係者で消毒作業を行う。

## 《 試合時間について 》

- ・5人立の行射制限時間を6分（従来よりも30秒短縮）とする。
- ・4矢1立、制限時間6分+矢取り1分30秒=7分30秒
- ・7分30秒×16立×2立=240分=4時間
- ・個人戦は、3位までの決定であるため、30分で試合可能。
- ・団体決勝トーナメント戦は、制限時間（競技時間）6分+矢取り1分30秒。競射の場合は、8分×8試合=64分（3位決定戦も含める。）準決勝及び3位決定戦・決勝戦前に、水分補給と矢返しを考慮し10分程度の休憩をとると、84分。



- ・上図の矢印は試合における選手の動線。
- ・各「机」（長机含む）の上に手指消毒用のアルコールを置く。
- ・矢取の際には係の顧問が使い捨て手袋をはめて毎回入る。回収した矢は各選手が自分のものだけを持参のタオルなどで拭く。
- ・大会中に選手や顧問が触れるであろう箇所について、試合前、試合後に大会関係者で消毒を行う。
- ・トイレは道場内、外、選手控え室の3箇所を使用。それぞれにハンドソープを用意する。看的（矢取）にもハンドソープを用意。
- ・係で使用するインカムは係員交代時にアルコールで拭き上げる。
- ・優勝旗返還、表彰式など、選手に直接手渡すものについては、手袋をして対応する。

